

# 令和3年 第4回（6月）吉川市議会定例会

## 一般質問通告書

6月14日（月）			
質問者			
通告第 1号	13番	小野 潔	
通告第 2号	15番	大泉 日出男	
通告第 3号	14番	五十嵐惠千子	
通告第 4号	9番	成本 直寛	
通告第 5号	3番	稲葉 剛治	
通告第 6号	10番	降旗 聡	
通告第 7号	16番	赤出川義夫	

6月15日（火）			
質問者			
通告第 8号	2番	稲垣 茂行	
通告第 9号	20番	松崎 誠	
通告第10号	8番	雪田きよみ	
通告第11号	11番	伊藤 正勝	
通告第12号	7番	飯島 正義	
通告第13号	12番	齋藤 詔治	

6月16日（水）			
質問者			
通告第14号	17番	吉川 敏幸	
通告第15号	1番	岩田 京子	
通告第16号	6番	遠藤 義法	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第1号 13番 小野 潔</p>	<p>1. 新型コロナワクチン接種について</p>	<p>新型コロナ感染症対策への希望の光ともいべきワクチン接種が全国的に進められています。菅総理の7月末までに「希望するすべての高齢者への接種」を終えたいとの強い決意の下、自衛隊による大規模接種会場の運営・推進、全国都道府県による大規模接種会場の設置・推進、当市におきましても高齢者向けワクチン接種が進められているところがあります。アメリカやイギリス、イスラエルといった先行してワクチン接種を推進した国の状況が報道等で行われています、コロナ禍前の生活に段階的ですが戻りつつあります、また社会経済活動も活発に行われつつあります。日本もスピード感を持ちワクチン接種が進めば、年内にも欧米諸国のような社会経済活動が行えるようになると提言している識者もおります。そこでこの重要なワクチン接種の当市での現状、課題、今後についてお伺いいたします。</p> <p>①質問通告の段階での報道では、全国の中には医療関係者の2回目のワクチン接種が終わっていない自治体があるとされています、当市での医療関係者の接種状況はいかがでしょうか。</p> <p>②高齢者接種について5月12日より予約開始、5月21日より集団接種開始とのスケジュールで進められています。6月14日からの一般質問時での直近の接種状況、予約状況について教えてください。</p> <p>③菅総理の7月末までにとの決意について当市での見通しについてはいかがですか、具体的に教えてください。</p> <p>④政府ではワクチン配布量を計画的に行っている、「ファイザー製は1億4千万回分を現在確保しているので、まず高齢者3600万人分はいきわたります」、5月21日にモデルナ製（国・県大規模会場用）、アストラゼネカ製も公的接種には使用しませんが承認がされました。ファイザー製、モデルナ製合わせて2億4400万回（1億2200万人分）接種対象者16歳以上の人口約1億1000万人を上回ります。これによりワクチン供給量が計画的に行なわれます。</p> <p>無料接種するワクチンであります、キャンセル等で余ったワクチンを廃棄するわけにはいきません。政府では各自治体に工夫をして欲しいとしています。現在当市ではキャンセル待ち申請者への接種体制を行っていますが、現在までの余ったワクチンの接種状況について教えてください。また今後、基礎疾患患者、一般者へと続いていきますが、余ったワクチンをどのように効果的に、有効的に接種されて行かれるのかお伺いいたします。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	<p>(続)</p> <p>1. 新型コロナワクチン接種について</p>	<p>⑤7月末を目途に高齢者の接種が終わったあと、基礎疾患のある方、一般の方へと接種が進んでいくと考えます、厚生労働省は5月27日、65歳以下の高齢者以外の方へ接種券の発送を、6月中旬を目途にと促しています。様々な角度からシミュレーションをしておくことが重要かと思ひます、お答えできる範囲でご答弁お願いいたします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>(続)</p> <p>通告第1号 13番 小野 潔</p>	<p>2. 孤立・孤独対策について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長引く中、子どもや若者、女性の自殺が増え、DV・虐待、うつ・ひきこもり、孤独死など社会的孤立の問題は深刻化しています。また、既存の制度の狭間で新しい生活困難層が増え、地域には帰属先を失った人々の孤立が広がっています。</p> <p>社会的孤立は様々な問題を生み出すだけでなく、健康悪化や経済の不安定化、社会保障給付費の増大等社会に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。公明党はこれまでも社会的孤立の問題に取り組んできましたが、コロナ禍において更に深刻化している実態を把握し、迅速に国・地方で対策を講じていくため、2月16日、公明党内に社会的孤立防止対策本部を立ち上げ、3月14日から4月末まで全国各地で社会的孤立の実態や孤立防止のための方策について、NPO等民間団体等からヒアリング調査を実施しました。政府においても2月19日、内閣府に孤立・孤独対策担当室を設置して担当大臣を置くという対策に力を入れております。そこで以下について質問致します。</p> <p>①長引くコロナ禍で深刻化する生活困窮者への支援、緊急小口資金、住居確保給付金、また雇用を守る雇用調整助成金等が6月末で期限となりますが、政府では延長を検討しています。当市に於ける緊急小口資金、住居確保給付金の申請状況と生活保護の現状と動向についてお伺いいたします。</p> <p>②社会福祉法の改正により、重層的支援体制整備事業が創設されました。背景として地域住民が抱える課題が複雑化・複合化しており、子ども・障がい・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では、複雑・複合的な課題や狭間のニーズへの対応が困難になっている現状に対応するためです。国では市町村が実施するに当たり必須事業ではなく手上げによる任意事業としています。今後義務化も想定されます、当市の取組みとお考えについてお伺いいたします。</p> <p>③先日、公明党吉川市議団と吉川市社会福祉協議会と意見交換会をさせていただきました、孤立・孤独対策には欠かせない重要な機関であります。社協では令和1年度～令和5年度までの5年間で「吉川市社会福祉協議会強化・発展計画」として定めています。社会福祉協議会への支援の状況と今後についてお伺いいたします。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第1号 13番 小野 潔</p>	<p>(続) 2. 孤立・孤独対策について</p>	<p>④第3次吉川市地域福祉計画が本年度でおわり、現在第4次吉川市地域福祉計画策定を行っていることと思います。第6次総合振興計画との兼ね合いもあると思いますが、どのような視点と理念で策定に当たられているのかお伺いいたします。</p> <p>⑤ひきこもり、自殺、孤独死対策の現状と課題、今後についてお伺いします。</p> <p>⑥いじめ、不登校対策について、代表質問でもお伺いいたしました、「勇者の旅」不安解消プログラムの実施について「昨年度はコロナ禍でできなかった今年度は実施予定としている」とお答えをいただきました、状況についてお伺いいたします。またこの「勇者の旅」は「自分で不安を取り除く力を身に着ける」という目的で作られたテキストと聞いています。それと同時に児童・生徒の心の不調の早期発見、早期予防をする、生徒がタブレットを使い朝学校でまずタブレットを開き現在の気分を晴れ、曇り、雨等のお天気マークをクリックするというアプリ。生徒・児童一人一人の心の状態を長期間把握して、教員、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーへの相談に結び付けていく。「スクールコンケア」というツールがあります。このようなシステムを導入し、いじめ・不登校対策としてはと考えるといかがですか。</p>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>3. 中川堤防（木売～高久間）のかさ上げについて</p>	<p>昨年の9月議会で取り上げさせていただいた中川堤防の嵩上げですが、国の令和2年度第3次補正予算で1.5メートルの嵩上げが予算化され、令和3年度中に工事完了予定との話を聞きました。市では国交省江戸川河川事務所よりどの様に聞かれているかお伺いいたします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第2号 15番 大泉 日出男</p>	<p>2020年3月に制定された埼玉県ケアラー条例について</p>	<p>昨今の様々な状況の変化の中、人口減少、少子高齢化が喫緊の課題であると同時に、地域社会の担い手も不足し、地域の支えあいの力が低下をしております。こうした状況の中で市町村において地域住民や民間団体等と連携・協働した地域づくりを推進することは、誰も置き去りにしない、誰も孤立させない、という地域共生社会の実現、全世代型社会保障の実現につながるものと考えます。コロナ禍によって、さらにその必要性和重要性は益々高まっており国・地方を挙げて取り組む必要があります。そこで今回ケアラー支援条例の中のヤングケアラー支援についてお伺いをいたします。</p> <p>①本条例についてどのような認識と課題をもっているのかお伺いいたします。</p> <p>②要保護児童対策地域協議会（要対協）、学校、こども福祉、社会福祉協議会（社協）と各部署と横断的に連携をし、勉強会等で当市がめざす方向性について議論すべきだと考えますがご所見を伺います。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第2号 15番 大泉 日出男</p>	<p>旭地区の交通安全対策等について</p>	<p>過日、旭地区自治会の方から交通安全対策についてご相談がありました。 旭小学校に通う低学年46人、中学年53人、高学年75人の児童達の誰ひとり取り残さない、こども達の幸せを願う偽らざる気持ちであるとお察しをいたしました。ご存知の通り、広域で見通しもよいことから登下校時には、幾度となく危ない場面が見受けられるとのこと。特徴としては、野田方面への近道の認識があり、他県ナンバー、近隣市ナンバーの方が通勤時に通過し、運転手はついスピードをあげてしまう傾向があるとおっしゃっていただきました。そこで以下要望があった箇所のご見解、ご所見を伺います。</p> <p>①八子新田、市道1-117号線(幅大)、市道1-115号線(狭い)、市道1-114号線(幅大)道幅が統一されていないので車両と接触する可能性が高い。</p> <p>②八子新田、市道1-116号線(舗装されてない)市道1-353号線(狭くて危険)、市道1-358号線(細くて危険)、1-944号線(細)、極端に狭く整備されていない。</p> <p>③市民農園より南方へ行った、ガス棟付近の交差点では接触事故が絶えないため、交通安全の旗を全面的につけて欲しい。</p> <p>④川藤3978付近から県道川藤野田線を渡り、きよみ野方面へ行く市道2-505号線。砂利道で、幅が狭く雨天時には通りにくいので、自治会の集まり時や災害の時に道路がいかされていない。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第3号 14番 五十嵐恵千子</p>	<p>1. 「生理の貧困」問題について</p>	<p>最近「生理の貧困」が話題となっています。「生理の貧困とは、月経に伴う経血の手当のために使う生理処理用品の購入や利用ができない状況を指します。経済的な理由のほかにも、羞恥心により購入に躊躇があることや、家族の無理解により入手ができないということが、2021年3月に国際NGOのプラン・インターナショナルが15歳から24歳を対象に実施したアンケートで示されている」とウィキペディアでは、簡潔に説明がされていますが、海外では以前から社会問題として取り上げられてきました。日本では、コロナ禍により、経済状況が厳しく変わった方が多くなり、「生理の貧困」が顕在化しています。</p> <p>今年3月4日、公明党の女性議員が他党に先駆けて国会にて質問。以来、東京都豊島区を皮切りに、全国各地で公明党が生理用品の無償配布を要望し、配布がスタートしています。当市におきましては、3月定例議会閉会后、中原市長へ「コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望書」を提出させていただきましたが、3月25日にはプレス発表と同時にスピード感をもって無料配布を実施していただきました。以下、改めて要望内容についてお伺いします。</p> <p>①防災備蓄品の生理用品を必要な方に配布して下さったと認識していますが、必要とす</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	<p>(続)</p> <p>1. 「生理の貧困」問題について</p>	<p>る方に継続的に届くよう、関係部局や関係団体と連携し、利用しやすい体制・環境づくりも要望しました。どのように検討し配付が実施されたのか経緯をお伺いします。また、防災備蓄品等の食料もあわせて、生活困窮者へも配布されたのかについてもお聞かせください。</p> <p>②市内全小・中学校での実施と公共施設等の個室トイレで生理用品を無償提供することの検討は。</p> <p>③公明党は3月15日、菅首相に対し、新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえた「追加の生活支援・雇用対策についての緊急提言」を申し入れました。この中で、経済的な理由で生理用品を購入できない女性や子どもがいるという状況を踏まえ、必要な対策を検討するよう要望したところ、政府は「地域女性活躍推進交付金」に予備費から13・5億円を追加措置することを決定。この交付金を活用して、自治体がNPOなど民間団体に委託して行う事業の中で、女性の生理用品などの提供を可能としました。当市、公募はされたのでしょうか、見解をお伺いします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>(続)</p> <p>通告第3号 14番 五十嵐恵千子</p>	<p>2. 障がい者の在宅就業支援について</p>	<p>厚生労働省では、自宅等において就業する障がい者について、雇用に移行する準備段階として在宅就業の機会を確保し、その経験を有効に活用することが重要と位置付け、様々な支援を実施しています。しかし、業務の発注側である企業や団体、障がい者自身へも在宅就業に対する認知が及んでいない実態があり、在宅就業の機会確保という意味では課題が多いと認識しています。</p> <p>しかし、デジタル庁の発足と共にポストコロナの新しい社会が一層推進されようとしている昨今、今後、障がい者の在宅就業も大きく変化していくことが予測されます。</p> <p>当市の在宅就業の取組みについて、現状と課題をお聞かせください。また、第4次吉川市障がい者計画には「様々な分野での新たな取り組みを支えることも大切です」とありますが、在宅就業へのしっかりとした新たな仕組みづくりが必要と考えます。ご見解をお伺いします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>3. 「自販機を活用した防犯カメラの設置」について</p>	<p>過去、2度にわたり一般質問等で取り上げ実現を強く要望しています。令和元年9月議会の一般質問では、一定の効果が認められると認識していただいた上で、市民生活部長からは「基本方針や指針の策定が必要となることから、他自治体などの事例を踏まえ、内容について検討をしている…今後、関係機関や各公共施設管理者とも協議しながら、計画的に進めてまいりたい」とご答弁をいただいています。また、都市計画部長からは「ごみなどが公園から排出されることや、自販機からの振動や騒音による周辺的生活環境への影響</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第3号 14番 五十嵐恵千子	(続) 3. 「自販機を活用した防犯カメラの設置」について	<p>課題があることから、引き続き他自治体の事例を参考に設置の可能性について検討を進めたい」と、積極的なご答弁をいただいています。</p> <p>あれから、約1年半以上が経過し、まもなくまた猛暑の夏を迎えます。先月も市民から、この件について、再度お問い合わせをいただきましたので、実現に向けての進捗状況をお伺いします。</p>	市長 担当部長
通告第4号 9番 成本 直寛	けやき通りの安全対策について	<p>けやき通りは市内の多くの方が利用しております。</p> <p>歩道は経年劣化による段差や穴、側溝升の段差、ポールの破損などが見受けられます。自転車の走行に危険を感じる、歩行中につまずいてケガをしてしまうのではないかな等の心配の声が上がっております。また、街路樹の樫は成長して大木化しており、大きな幹や垂れ下がった葉による交通安全への影響、根上がりによる歩道隆起、突風による倒木の恐れ、夜間の照明の明かりが樫の葉や枝に隠れてしまい暗く感じる等の声が上がっております。</p> <p>多くの方からけやき通りの歩道の整備・改善してほしいとの声が上がっております。そこで市の見解をお伺いします。</p> <p>○バリアフリー・安全の視点から段差や穴の補修の予定・計画はございますか。</p> <p>○歩行者と自転車がより安全に歩行・走行できるよう、白線で区切ったり、色を分けたりして区分けしていく計画はございますか。</p> <p>○車両が間違えて歩道に進入しないよう、ポールを増設する必要がある個所はありますか。</p> <p>○樫の木は今後こういった管理をしていく予定ですか。</p> <p>○小学生の通学路となっているけやき通りの中曽根と道庭の歩行者信号ですが、中曽根は一方のみ設置、道庭は歩行者信号が設置されておりません。今後設置していく予定はございますか。また、けやき通りの信号機に名称は付いていますか。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	1. スポーツのまちづくりについて	<p>スポーツビジョンが策定され、スポーツ推進のさらなる前進に向けて動き出していますが、策定の意義、基本方針、具体的施策について改めて伺います。</p> <p>①市のこれからのスポーツ推進の方向性、方針を伺います。</p> <p>②吉川市のスポーツ少年団、吉川スポーツ協会との連携をどのように図っていくか伺います。</p> <p>③多様性とスポーツをどのように組み合わせて展開していくか伺います。合わせて関係課との連携は積極的に図られることになるか伺います。</p> <p>④より多くの方にスポーツを楽しんでいただくためにどのような取り組みをしているか、また今後どのような取り組みを行う考えか伺います。学校開放や施設使用についての考え方を伺います。</p>	市長 担当部長
通告第5号 3番 稲葉 剛治	2. バリアフリーのまちづくりについて	<p>①情報拡充の保障について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話リレーサービスについてどのように周知しているか伺います。</li> <li>・遠隔手話通訳サービスの提供について見解を伺います。</li> </ul> <p>②補助犬専用トイレについて見解を伺います。</p> <p>③多目的トイレへ補助犬トイレステッカー掲示について見解を伺います。</p>	市長 担当部長
	3. 誰もが楽しめる公園について	①インクルーシブ公園整備に向けた現在の進捗状況を伺います。	市長 担当部長
	4. デジタルも使うまちづくりについて	<p>①現在吉川市が進めているデジタル化の取り組みの実情を伺います。</p> <p>②自治体DXについての現状の認識と課題を伺います。</p> <p>③自治体DXの今後の取り組みの方向性について。</p> <p>④ブロックチェーン技術を活用した地域通貨「吉川市デジタルプレミアム商品券」を発行する考えについて伺います。</p>	市長 担当部長
	5. コロナ禍における取り組みについて	<p>①吉川市のコロナ禍における生活習慣病対策の現状の認識と課題を伺います。</p> <p>②運動不足により、生活習慣病の重症化リスク増が懸念されます。KDB（国保データベースシステム）の活用はあると思うが、レセプトデータ・検診データの分析等を先進企業や大学との連携も視野に入れてはと考えます、見解を伺います。例：奈良県三宅町 xPREVENT</p> <p>③運動不足の解消のためどのような取り組みを行っているか伺います。</p>	市長 担当部長



質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第6号 10番 降旗 聡	主要幹線道路等（将来都市構造・軸の構成）の計画策定について	<p>現在、第6次総合振興計画を策定するため、審議会が開催されています。計画案には、第5次総合振興計画で示されていた将来都市構想図・土地利用構想図から、さらに踏み込んだものとなり大きく夢が膨らむところです。</p> <p>広域幹線道路である東埼玉道路と常磐自動車道三郷スマートインターのフルインター化が、それぞれ建設計画も明らかとなりました。</p> <p>また、主要幹線道路として位置付けられている越谷吉川線も整備が着々と進んでいます。このように、当市を取り巻く環境が大きく変化するなか、将来都市構造・軸の構成が市民生活の向上に大変大きな役割を持ててきます。</p> <p>そこで、以下について市の見解を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 越谷吉川線と三輪野江バイパス接続の考えについて。</li> <li>2) 吉川美南駅から三輪野江地区への道路整備について。</li> <li>3) さくら通りの4車線化の現状とちちばしまでの延伸の見通しについて。</li> </ol>	市長 担当部長
	新型コロナワクチン接種のこれまでの状況と今後の進め方について	<p>新型コロナウイルスワクチン接種が全国で進められています。</p> <p>吉川市でのこれまでの状況と今後の進め方など、以下について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療従事者等へのワクチン接種の状況について。</li> <li>2) 介護・保育施設等従事者へのワクチン接種の状況について。</li> <li>3) 高齢者向け接種の、これまでの予約状況と今後の見通しについて。</li> <li>4) 65歳未満のワクチン接種の見通しについて。</li> <li>5) ワクチン接種事業従事者（協力事業者等含む）への接種状況について。</li> <li>6) 危機管理の視点から、災害発生時に活動に従事する消防隊員、災害対策本部役員や避難所開設など現場で対応する市職員へのワクチン接種の現状と今後の取り組みについて。</li> </ol>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第7号 16番 赤出川義夫	1. 新型コロナウイルス対応について	新型コロナウイルス感染症対応事業支援補助金の第1弾、第2弾の事業者の業種、主な対象経費の実績をお伺いします。	市長 担当部長
	2. まちごとまるごとハザードマップについて	市内120カ所の電柱に想定浸水深の表示標識と、赤いテープで最大規模の降雨により氾濫した場合の浸水深が表示されています。設置場所により中川、江戸川、利根川と3河川ありますがその違いをお伺いします。 災害時避難行動要支援者の救援体制と、避難場所への経路や移動手段等整備状況をお伺いします。また、自治会と連携した取り組みについて伺います。	市長 担当部長
	3. 吉川交番交差点歩道について	吉川橋暫定供用により、仮橋に比べ歩道の幅が広く、勾配が緩やかなため吉川橋から吉川交番交差点間の自転車の通行量が増加しています。交差点北西側歩道は狭いため、朝の通勤通学時は以前拡幅した南側歩道に自転車と小学生が通行するため危険な状況です。建造物のない部分の歩道を拡幅ができないかお伺いします。	市長 担当部長
	4. 三輪野江地区の開発について	三郷スマートインターチェンジのフルインター化に伴い、周辺開発を隣接する三郷市と連携しているかお伺いします。	市長 担当部長
通告第8号 2番 稲垣 茂行	1. 新型コロナウイルス感染症対策について（ワクチン接種を中心に）	政府は5月28日、東京・大阪など9都道府県に発令中の緊急事態宣言を5月末から6月20日まで再延長することを決めました。また、宣言に準じる「まん延防止等重点措置」についても、埼玉・千葉・神奈川など5県への適用が延長されました。 コロナ禍の長期化は経済活動に大きなダメージを与え、経営の深刻化により雇用・所得そして消費回復が進んでいません。全国の休業者は3月末で220万人になりました。また宣言の長期化で、人々の生活は自粛疲れが目立ち宣言の効果が薄らいでいます。 新規感染者数は、減少傾向にはあるものの高止まりの状態が続き、北海道、沖縄では急増しています。 こうした中、菅首相はワクチン接種の加速化を図るため「1日100万回」接種を掲げ、65歳以上の高齢者への接種を7月末完了目標とし、自衛隊による大規模接種を指示しました。大規模接種は5月24日から東京・大阪会場が始まっています。さらに全国の市町村1,741自治体に対し、総務省を通じ接種を加速化するよう促しています。 当市では4月30日、80歳以上の市民4,560人へ接種券を発送し、5月21日～6月10日に第1回接種が行われました。続いて5月20日、78・79歳1,562人、26日には72～77歳5,677人へ接種券を送付しました。接種予約期間は6月11日～7月1日となっています。いよいよ当市でも「ワクチン接種」が動き出しています。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第8号 2番 稲垣 茂行	(続) 1. 新型コロナウイルス感染症対策について(ワクチン接種を中心に)	新型コロナウイルス感染症対策の切り札である、「ワクチン接種」を出来るだけ早く、より多くの市民に接種をお願いし、収束へ向けた歩みを確実にしたいと考えます。そこで、接種受付体制と接種会場運営の状況、これまでの接種状況と今後の予定、接種率向上及び接種加速化へ向けた取組み等について提案を交え質問をいたします。 1 接種予約受付体制と接種会場の状況(コールセンター・副反応・トラブル) 2 これまでに接種した対象者、人数、接種率 3 今後の接種予定(対象者・完了までのスケジュール・国の目標に対する見解) 4 「余りワクチン」有効活用の取組み(キャンセル対応) 特定グループへの接種・一般からの公募・優先順位作成等 5 「接種率向上」の促進策 6 ワクチン接種体制の拡充について 接種方法(集団・個別)、接種会場・場所、打ち手 7 市民への情報提供の拡充 感染時の措置と対応、感染者情報(現在の人数、重軽症者と入院・療養ホテル・自宅待機者の内訳、感染経路等)、病床率、保健所及び市の支援体制、ワクチン接種状況等	市長 担当部長
	2. 危機管理課送別会について	3月26日、危機管理課職員11人のうち当時の課長ら9名が、飲食店で午後6時から9時まで送別会を開催。さらに8人が深夜0時まで2次会を行ったという。 市は4月12日、このことを発表。翌13日の新聞に送別会の概要が掲載されました。 中原市長は「率先して感染拡大防止に取り組むべき市職員として不適切な行為。全職員に綱紀粛正を徹底し再発防止に努める」とのコメントを発表した。とあります。 送別会についてプレス発表を行う旨の報告は受けましたが、今回の不祥事についてこれまで議会・市民に対し明確な説明、報告がありません。 そこで送別会の調査概要、処分内容、再発防止策等について改めて質問をいたします。 1 新聞報道(読売・朝日・埼玉新聞等)の内容に誤りはないか 2 「送別会開催」についての情報は、何時・どこから・どのように把握されたのか 3 事実関係の確認はどのように行ったか。他部署では同様の「送別会」は開かれていないのか 4 職員に対する処分の内容とその根拠及び決定機関 5 具体的再発防止策 6 市長としての責任をどのように考えているのか	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第9号 20番 松崎 誠</p>	<p>安全安心のまちづくりについて</p>	<p>1. 江戸川堤防強化対策事業について 江戸川堤防強化対策事業において野田橋から玉葉橋までの区間約4kmの内、約半分（八子新田、下内川、上内川）、堤防沿いの県道川藤野田線・歩道・用水路・用水管理通路の付け替え工事が数年をかけて整備されてきました。現在は部分的な盛り土工事が行われ吉川地内の堤防強化対策事業完成までにはあと数年かかるのお話を江戸川河川事務所からお聞きしているところです。一方、工事区域内の環境も大分変わってきています。一部完成後した堤防沿いには防犯灯が無い場所も多々見受けられます。そこでお伺いします。用水管理用通路に防犯灯の設置はいかがでしょうか。</p> <p>2. 東埼玉テクノポリス拡張について 昨年行われた東埼玉テクノポリス拡張に関する説明会で質疑応答の中で、三輪野江地区の開発を優先して進めるとありました。そこでお伺いします。</p> <p>①1年から2年ぐらいで地権者からの同意を取ったうえで、三輪野江地区の開発スケジュールが明確になってくると言われていますが、その根拠は。</p> <p>②テクノポリスは吉川市としても非常に有益な場所と捉えており今後も国や県との交渉を継続するとありますが、それは可能なのか。</p> <p>③市としてテクノポリスの拡張を諦めたわけではなく、開発を民間企業が行うようであれば支援をしたいと考えている。とあるが具体的に支援とは何か。</p>	<p>担当部長</p>
<p>通告第10号 8番 雪田きよみ</p>	<p>1. 不登校対策について</p>	<p>平成30年度、「不登校を共に考える会」のみなさんが吉川市みらいステップアップ助成事業を活用し、「不登校を理解するため」のパンフレットを作成しました。「親が元気になれば子どもも楽になれると信じ、その間保護者と学校・支援者のみなさんと協働することが不可欠」との思いから作られたパンフレットです。</p> <p>①同パンフレットは、不登校の子どもへの保護者や支援者など多くの方々に届けられ、市の窓口や宇宙（そら）の相談室にも配置され、残数は少ないとのこと。増刷し、今後も保護者・学校・支援者の協働を広げるよう活用していただきたいと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>②市のホームページ「【平成30年度実施事業分】みらいステップアップ助成金 事業実績報告会要旨」に同パンフレットが掲載されています。教育や子育て関連のページに掲載し、不登校に悩む、より多くの方々に活用されるようにするべきと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>③宇宙（そら）では今年度、農業体験や書道・茶道・調理実習などの体験活動等を計画し</p>	<p>教育長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	(続) 1. 不登校対策について	<p>ています。こうした活動に、不登校体験者や支援者をボランティア等として活用することについて、どのように考えますか。お聞かせください。</p> <p>④今年度計画している適応指導教室の卒業生に向けたアンケート調査結果は、宇宙（そら）の質の向上に活かすことが目的の一つと聞いています。卒業生だけでなく、現在利用している児童生徒・保護者や不登校問題に取り組む地域の様々な団体みなさんのご意見も、ぜひ取り入れていただきたいと考えます。見解をお聞かせください。</p> <p>⑤当市では以前、宇宙（そら）とは別に市内の中学校に「適応支援教室」を設置していました。「適応支援教室」の詳細と評価、閉鎖した経過をお聞かせください。</p> <p>⑥一人一台のタブレット教育が始まりました。不登校児童生徒への活用について、見解をお聞かせください。</p>	教育長 担当部長
(続) 通告第10号 8番 雪田きよみ	2. 道路の安全対策について	<p>①吉川橋以东の道路は、今後市道から県道に相互移管することが予定されています。移管にあたり、県から整備が求められていると聞いています。具体的な内容をお聞かせください。</p> <p>②同道路の歩道について、桜の木の根上がりにより歩道が大きく盛り上がり危険であることや桜の木の繁茂により道路照明が覆われていることなどについて、近隣住民の方から要望が出されていると聞いています。今後の対応についてお聞かせください。</p> <p>③葛飾吉川松伏線も、保交差点から吉川交番まで県道から市道に移管されると認識しています。この道路は、市内唯一の総合病院に向かう道でありながら歩道が狭く、側溝の上に置かれたコンクリートブロックが所々浮き上がっていることや照明の暗さなどが訴えられてきました。市道へと移管される前に、県に整備を求めるべきと考えますがいかがでしょうか。</p> <p>④川野橋の交差点は、さくら通りの北側がカーブしており見通しが悪く、スピードを上げて走る車が多いため、歩行者は恐る恐る横断する状況です。手押し式信号の設置等の対策が必要と考えます。見解をお聞かせください。</p>	市長 担当部長
	3. コロナ対策について	<p>①ワクチン接種が始まりました。スムーズに接種が進んでいる様子に安堵しています。65歳以上の高齢者への接種終了後は、持病のある方及び高齢者施設の従事者が対象と認識しています。訪問系・通所系を含めた介護職員や幼稚園を含めた教職員・保育士・学童保育指導員及び支援員等、エッセンシャルワーク従事者についても、優先接種が非常に重要と考えます。見解をお聞かせください。</p> <p>②ワクチン接種が進み、ワクチンの効果への期待が広がる中で、「様子を見たい」「接種し</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第10号 8番 雪田きよみ</p>	<p>(続) 3. コロナ対策について</p>	<p>ない」という選択をした方々に対するバッシリングも一部では報道されています。接種しない権利を守る対策も、一層重要と考えています。見解をお聞かせください。</p> <p>③多くの飲食店でアルコール類の提供は夜8時まで、営業も9時までとしています。緊急事態宣言及び蔓延防止等重点措置の対象外の吉川市ではこれらの対策への補償はなく、経営的なダメージがより一層大きいものと認識しています。市内飲食店の経営状況についての認識及び対策についてお聞かせください。</p> <p>④今年度予算には、オリンピック・パラリンピック学校連携観戦チケット負担金として112千円が計上されました。部活単位での観戦が見込まれているとのことでした。オリンピック・パラリンピックは今なお、本当に開催できるのかどうか危ぶまれています。開催された場合には感染の更なる拡大が懸念されます。市の対応について、お聞かせください。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第11号 11番 伊藤 正勝</p>	<p>UR・都市再生機構の開発エリアについて</p>	<p>今回は吉川市施行の東口開発を軸に質問いたします。関連する周辺のまちづくり、開発整備状況についても実状を浮き彫りにしたい考えです。</p> <p>東口開発に先立って美南駅西口のUR・都市再生機構の整備地域、JRTT・鉄道建設・運輸施設支援機構の区画整理事業についてまず伺います。URの開発エリアは駅西口の82ha。想定人口9200人でした。第1の質問は①計画と現状の違いについて、その理由も。②市の負担金額。③人口の推移。動態。④税収。⑤未利用地の実状。人口増の見通しも。今後の課題の認識と対応について伺います。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
<p>第2の質問はJRTTの開発エリア(旧操車場跡地)について。総事業費推定240億。想定人口3,500人です。上記の5点と同様の質問内容です。</p>	<p>JR・鉄道運輸機構の開発エリアについて</p>	<p>①計画と現状の違いについて、その理由も。②市の負担金額。③人口動態。④税収。⑤未利用地の実状。6月12日開業のイオンタウン温泉やスポーツ施設等の内容。650万人集客への期待は。三郷市との境界用地の動向。今後の課題と対応について伺います。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
	<p>吉川美南駅の実状について</p>	<p>開業以来9年を経過。質問①現在の利用状況。吉川市民とそれ以外の利用客数。②吉川美南駅は2面3線。吉川駅は2面2線です。この3線の利活用の状況。今後の方向や期待についてはいかがですか。③総事業費と市負担の最終金額。JRの負担額。その考えや内容を説明ください。④旧JRグラウンド用地の収益は新駅建設に充当すべきと何度か提起をしました。今回東口開発の用地の一部に提供されることが決まったようです。開発公社から購入価格(農用地)で取得。総事業費に加算されますか。開発予算との関係でどういう取り扱いになるのか、わかりやすくご説明を。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第11号 11番 伊藤 正勝	東口開発の現状について。 産業ゾーンと商業ゾーン等について。	東口開発は5年目。正念場を迎えています。今回は主に産業ゾーンと商業ゾーンについての質問です。 まず産業ゾーンについて。質問①4区画のうち3区画が内定と聞きます。企業の種類・内容。契約状況。進出の時期について。②市民の「働く場や見学などに寄与する」との理念は実現できそうですか。伺います。 商業ゾーンについて。第1期分は応募がなく残念でした。①その後の進展や今後の取り組みについて伺います。②駅寄りの第2期分については公共施設の配置等の構想を固めたうえで公募するとの方針が示されています。 現在の検討、審議の状況。今後の段取り▽市としての基本的考え。必要度、利用見通し、資金投入、周辺状況にも触れてご説明を。③事業計画は総事業費170億円。期間は10年の予定。▽進捗状況と資金を含め今後の見通しを。▽駅前の公園や調整池の運動場等の事業予定について。▽無電柱化の拡張整備が国策として打ち出されています。東口開発エリア内での計画と拡張の可能性について見解を伺います。無電柱化は上下水道の共同溝と連動する作業なのか確認します。	市長 教育長 担当部長
	東西横断道路整備が必要では	賑わいの創出。商業の活性化や公共施設の利用を考えますと、西口と東口を結ぶ横断道路の整備が必要だと考えます。質問①計画はありますか。どう取り組みますか。②少なくとも今の跨線橋の拡幅整備や駅自由通路の拡充利用をはかるべきです。見解を伺います。③現庁舎と新駅を結ぶ道路交通網の整備も急がれます。取組みについてあわせて伺います。	市長 教育長 担当部長
	吉川美南霊園について	隣接する吉川美南霊園の用地は当初東口開発のエリアでした。①この間の変更について事情をご説明ください。②美観や安全・衛生面等懸念材料はありませんか。実状も加えてください。	市長 教育長 担当部長
	第2最終処分場について	「天からの贈り物」ともいえる第2最終処分場の問題。東口の魅力アップにもつながります。早期に活用の方策を固めるべきです。質問①資源環境組合からの引き渡し時期の見通しとその時の状態。②民間の知恵や資金、活力を導入することについて。広大な用地であり思い切った発想、資金の投入が必要な事案だと考えます。プロポーザル方式で公募する等市民や周辺自治体、全国の企業の知恵を集める工夫を。ご見解を伺います。	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第11号 11番 伊藤 正勝	第6次総合振興計画や地方創生の構想・計画との連動	第6次総振等の検討作業が進んでいます。東口開発と第2処分場。さらに吉川橋や仮称三郷流山橋の完成。質問①越谷や三郷の周辺状況も掌握し、実施計画や前期計画に盛り込むべきテーマだと考えます。ご見解と対応を伺っておきます。②隣接自治体等との連携、協力の考えについてご見解を伺います。	市長 教育長 担当部長
	コロナ感染症の情報提供について	感染症の状況は感染者の数の発表にとどまっています。第1次の最小限の情報提供だけでは公の仕事としては不十分です。感染や検査結果のその後の推移。重症・軽症の程度や内容、入退院や自宅療養、医療体制についても提供すべきです。少なくとも保健所単位でのデータ公表を求めるべき。もっと具体的に工夫や提案は出来ませんか。ご見解を伺います。	市長 教育長 担当部長
通告第12号 7番 飯島 正義	1. 産業まちづくり地域の問題について	今後の三輪野江地区（白地地域）のまちづくりを進めるために、三輪野江地区の懇談会を平成27年度及び平成28年度に開催しました。 これを受け、市では開発を検討する範囲を絞った上で、「農地保全エリア」、「農業拠点検討エリア」、「将来開発検討エリア」の3つのエリアに分けてまちづくりを進めていくという基本的な考え方をまとめて、素案を自治会役員の方々に説明しました。住民の意見やその後の経過をお聞きます。 ①農地保全エリア (1)平成27年の地元懇談会で示した計画の内容をお聞かせください。 (2)住宅地を除く青地にする面積と地権者数は。 (3)懇談会で出された住民の意見や意向をお聞きます。 ② 農業拠点検討エリア 「農業パーク基本構想」が提案されています。 (1)関係自治会に説明会を開いたと聞いています。出された意見をお聞きます。またその後、素案を関係自治会に回覧し意見などを募りましたが、意見と内容をお聞かせください。 (2)吉川市のまちづくりや、農業の大事な施策になります。市民全体にも関心の高いものです。農協関係、農業関係者など市民団体に説明して、これからの農業を一緒に考えて行く必要があると考えますが、見解を伺います。	市長 担当部長



質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	<p>(続)</p> <p>1. 産業まちづくり地域の問題について</p>	<p>③将来開発検討エリア</p> <p>(1)この地域は、他の二つのエリアに比べて、この間変化が大きい地域です。様々な工場や倉庫、資材置場が進出しこれまでの景観が変わりました。こうした状況の中で未舗装の生活道路の傷みが激しくなっています。</p> <p>また、この地域では火災もありました。今までは田園地帯だったので防火水槽も少ない状況です。市は産業まちづくり地域として位置づけて、工場や流通業務施設など誘致してきました。市は責任をもって防災施設を含めて生活道路補修（例えば三輪野江1994地先）など計画的に環境整備を進める必要があると考えます。今後の計画を伺います。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>(続)</p> <p>通告第12号 7番 飯島 正義</p>	<p>2. 産業まちづくり地域の水路問題について</p>	<p>①三郷市と吉川市の境、しんきぼりの水の流れが問題となっています。田植えの時期に堰を開け、水を入れて経過を見ると12月議会での答弁でした。その結果について伺います。流れが悪い要因は、三郷市側の水路に繁茂した水草のためと考えますが、市の認識を伺います。</p> <p>②三輪野江1599-2地先に沿って南は水路、北は家が立ち並んでいます。車などの通行もあり大変危険だとして、以前から柵設置の要望がありました。現在はロープが張られているだけです。柵の設置計画を求めます。</p> <p>③しんきぼり上流、三輪野江2477-12地先はしんきぼりに沿っての道路が幾度となく崩れ、簡易な修理をしていただきました。しんきぼりの改修計画を早めて補修すべきと考えます。見解を求めます。</p>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>3. 福祉タクシー券助成事業について</p>	<p>福祉タクシー券助成事業は、障害者の移動手段の確保と経済的負担の軽減を目的としています。</p> <p>助成額は、1枚あたり、初乗り料金分（500円）。交付枚数は、月3枚で年間36枚が限度です。利用方法は、1回の利用につき1枚使用とのことです。利用者からは1枚の使用ではなく複数枚使える、あるいは1枚の額を高くするなど使い勝手の良いものにしていただきたいと要望が寄せられています。市の考えを伺います。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>通告第13号 12番 齋藤 詔治</p>	<p>1. 吉川橋への道路及び交差点周辺等の交通安全対策について</p>	<p>本年3月26日に吉川橋の暫定供用開始・片側2車線が開通されました。道路勾配が緩やかで利用しやすく、特に自転車通学の学生が急増しております。令和4年春に一部4車線が完成予定となっております。暫定供用開始に当たり、吉川交番前交差点内に設置された立て看板に朱書きで、「お願い・吉川橋通行の方は北側歩道をご利用ください。」と赤い矢印で示されています。交差点から橋周辺までの北側歩道部分は大変狭く、電柱等もあり自転車が1台通行するのがやっとの状態です。その南側歩道部分は、2年前に市民の要望によりアスファルト舗装による暫定歩道が整備され、吉川小学校の児童の通学路等としてかなり安全が確保されております。北側歩道部分には埼玉県による用地買収で空地があり、この一部を安全が確保できるスペースとして暫定整備していただきたいと吉川市を通じてお願いしておりますが、いまだに実現しておりません。またこの交差点を東に約80mの地点北側にT字の交差点があります。かなり見通しが悪く、地域住民の方が歩行者及び自転車等の事故を危惧しており、歩道を確認できるカーブミラー等の安全対策の要望が多くあります。現地で実情を見て大変危険を感じました。一日も早い対応をお願いいたします。</p> <p>本年3月議会においてこの交差点への質問があり、答弁がされております。市が出来る範囲で積極的な交通安全対策があると考えますが、取組みについてお伺いいたします。</p>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>2. 第6次吉川市総合振興計画について</p>	<p>本年5月18日に、第2回吉川市総合振興計画審議会が開催され、(1)将来都市像及びまちづくりの基本理念・(2)将来人口・(3)将来都市構想・(4)まちづくり目標とそれぞれの(案)について意見聴取がなされ、方向性が承認されました。後日、これらについてパブリックコメントを開催し市民の意見を取り入れ、再度審議会を開催し決定されます。</p> <p>私は、市民の会を代表しての審議員です。</p> <p>(1) 将来都市像及びまちづくりの基本理念について</p> <p>①第5次吉川市総合振興計画の理念の引継が強すぎるように思います。時代は急変しているのもしっかり第5次を検証し、総括して進めるべきと考えるがお伺いいたします。</p> <p>②この10年は「SDGs」。時代の流れを受けて、「SDGs」という言葉を目標にしっかり入れるべき。「デジタル」・「防災」も目標に入れるべきと考えるがお伺いいたします。</p> <p>③議論の前提として広域行政視点が必要。近隣市町の開発状況や計画も念頭にまとめるべきと考えるがお伺いいたします。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
<p>(続) 通告第13号 12番 齋藤 詔治</p>	<p>(続) 2. 第6次吉川市総合振興計画 について</p>	<p>(2) 将来人口について 10年後の将来人口(案)7万7千人は、推計=目標値でいいのか。推計が甘いように思う。今後は、人口減少は当然と思われているが、国でも推進している生活困窮者への子育て支援等積極的な人口増加、周辺自治体との協働で吉川市人口の目標値を増加してみてもは、また子育てにベーシックインカムを導入等を国に働きかけては、お伺いいたします。</p> <p>(3) 将来都市構想について ①将来都市構想に沿ったこの10年間前期、後期の推進策の明示をお願いいたします。 ②税込確保や雇用の創出に道筋を示すべきと考えるがお伺いいたします。 ③「SDGs」事業の促進へ向け、「営農型発電」の導入で農地に太陽光発電が推進され、再生可能エネルギーで発電した電気による地域貢献がすすんでいます。吉川市の農地は水田がほとんどです。事業の導入に当たりナマズの郷にふさわしい淡水魚の自然生息地の復活や水田にため池を設けるなど総合治水対策への活用を図り、再生可能エネルギーで発電した電気により、水素エネルギーのための水素生産工場等の導入はいかがか、お伺いいたします。</p>		<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第14号 17番 吉川 敏幸</p>	<p>1. 公園の安全対策について</p> <hr/> <p>2. 事業者支援について</p>	<p>(1) 関公園の安全対策について 1. 公園再生プロジェクトにより木々の伐採が行われた関公園。公園西側の入口から続く歩道両側には高さ5cmほどの低木の切り株が残ったままとなっている。伐根は伐採時の予算に含まれていたのか。 2. 地元の説明会では伐根に関してどういう説明を行ったのか。</p> <p>(1) 自粛等による消費の落ち込みにより苦しんでいる事業者等への支援策について 1. 埼玉県感染防止対策協力金や中小企業庁の一時支援金等から漏れている事業者は少なからずいる。事業継続支援金事業を再び実施する考えはあるのか、市の見解を伺う。</p> <p>(2) 今秋予想される米価の下落に対する支援策について 1. 新型コロナウイルスでの自粛による外出消費の減少、食の多様化等により米の需要が減少している。昨年の出来秋の価格より1俵当たり1千円~2千円も下落しているといわれている。今年の秋には更なる米価の減少が見込まれる中、市はどのような支援策を考えているのか、見解を伺う。</p>		<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第14号 17番 吉川 敏幸</p>	<p>3. 三輪野江地区について</p>	<p>(1) 3つのエリア分けの根拠について 1. 先の3月定例会において、エリア分けに関して、地区懇談会を開催し、地区住民の方々と意見交換などを行いながら、農業拠点検討エリア、農地保全エリア、将来開発検討エリアの3つの土地利用の方向性を示してきたと答弁があった。①それでは、なぜ、農地保全エリアに賛同者がいなかったのか、市の見解を伺う。②農業パークの基本構想において、三輪野江地区を計画候補地とした理由なり、根拠は。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第15号 1番 岩田 京子</p>	<p>学校運営協議会がスタートして</p>	<p>駅南側の小中学校3校で、地域と共にある学校づくりコミュニティスクールが始まった。 1) なぜ、小中一貫に向けた学校運営協議会としながら、3校合同で設置しなかったのか。 2) 学校運営協議会と教員との関係。教員の役割。 3) 年2回開催予定。評議会と具体的に何が変わるのか。 &lt;メンバー構成について&gt; 4) 現役保護者のいないところ、有識者のいないところ、現役含め半分以上が校長経験者のところ、メンバー構成は課題により様々でよいと考えるが、今年度は各学校、何を課題として取り組んでいくためのメンバー選出だったのか。 5) 吉川市の規則をみますと、第7条(住民参画の促進などのための情報提供)の2項(1)で「幼児の保護者の理解を深める」と、他自治体ではあまり見られない「幼児の保護者について」記載されています。また運営協議会メンバーも3校のうち2校で保育園の関係者が選出されています。幼児施設との連携に力を入れる理由と期待される効果は。 6) 学校運営協議会・評議員を2校兼任している方が複数いるが、かつて評議員が2校にまたがっていて、1校にするよう次年度に促された事例があるようですが、考え方が変わったのか。今後の対応は。 &lt;今後の取組み&gt; 7) 地域と共にある学校づくり実現のために、学校運営協議会を活かすには、「地域学校協働本部」の存在が必須と思う。社会教育法で、教育委員会は地域学校協働推進委員を委嘱することができるとなっているが、その予定は。 8) また、その間を取り持つコーディネーターの存在が要と考えるが、ビジョンは。 9) 次年度に残り8校での設置予定もあり、各学校の校長先生はじめ先生方が傍聴されていた。設置準備はどのように進めるのか。</p>	<p>教育長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続)  通告第15号  1番  岩田 京子</p>	<p>2. デジタル化にむけて  【学校での取組み】</p>	<p>4月より本格的に始まった学校でのICT教育の現況について。タブレットは一つのツールではあるが、かつてのOHPやPJのように、使いこなせない先生でもそれを上回る技術があるなら、必ずしも使う必要がなかったツールとは違い、唯一生徒とのコミュニケーションの手段となることを想定すると、全教員が必要に迫られている。指導において教育委員会の役割は非常に大きい。</p> <p>&lt;教職員研修&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 各学校に配置されたICT支援員についての現状は。</li> <li>2) 特に指導主事・教務主任の役割は大きく、負担もあると思うが、進捗状況は。</li> <li>3) 各学校の職員の中でICT推進担当者などはいるのか。</li> <li>4) ICT教育研究授業などの開催予定。</li> <li>5) 一番は日々の行動の中で慣れることが大切。学校間共有フォルダは活用されているか。全教員がそのフォルダを開けているのか。フォルダを見たことがある教員の割合はどのくらいか。授業で活用した教員はどのくらいいるのか。</li> </ol> <p>&lt;タブレット端末周辺整備について&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6) 良好なタブレット周辺整備になっているか。課題は。</li> <li>7) 使用時間。小中・学年・教科・先生による違い等。</li> <li>8) タブレット使用マニュアルは独自のものがあるのか。</li> </ol> <p>&lt;特別教室のICT活用について&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>9) 特別学級の子こそ、発音練習ですぐさま録画が見られたり、書くことが苦手な子にフラッシュカードの活用など様々な効果が発揮できると言われています。現状は。</li> </ol> <p>&lt;家庭でのタブレット端末の活用について&gt;</p> <p>夏休みに家に持ち帰るために3月議会にてタブレットを追加購入しているが、家庭での利用に関する課題。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>10) 家に持ち帰った際に想定される活用方法。</li> <li>11) 制限の機能はあるのか。</li> <li>12) 長期休みに入る前段で家庭での活用状況をみる必要があるのではないか。</li> <li>13) 壊した時の対応</li> <li>14) 家庭でのWi-Fi環境の整備。</li> <li>15) 持ち帰り用の充電アダプターについて。</li> </ol>	<p>市長  教育長  担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	<p>(続)</p> <p>2. デジタル化にむけて【誰一人取り残さないデジタル化へ】</p>	<p>市民生活の中にも、デジタル化は進んでいる。個人認証サービスの電子申請・届出、ワクチンの予約、これからデジタル版のプレミアム商品券のような取組みも行われる。コロナ禍で痛感したのは情報を出している側と受け止める側に大きな壁があることだ。この情報過多の時代では、自ら情報を取りにいく訓練が必要だ。日常の行動範囲内で気軽に相談できる場所があるとよいと思うが、フリーWi-Fiの入ったおあしす内でそのような場所を設けてみてはいかがか。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
<p>(続)</p> <p>通告第15号 1番 岩田 京子</p>	<p>3. 最悪な浸水を想定して</p>	<p>市民の垂直避難や友人知人宅への自主避難により避難所の密を避けるため「まちごとまるごとハザードマップ」を市内120カ所に設置した。浸水深が感覚的にわかると好評と同時に「このような事態の時、市民はどうすればよいのか」との質問も多数。課の現状の把握、地域防災計画・避難所運営マニュアルの策定、各自治会へ働きかけや事業所との協定等、精力的な取組みは把握しているが、今一度市民への心構えと、市としてできることを明確にしたい。</p> <p>1) 最悪な浸水により、機能が低下する避難所、防災倉庫は。住民の避難先は。</p> <p>2) 都市再生特別措置法等の一部を改正する法律が施行。国は水害リスクの高い地域の土地利用規制により水害リスクの低い地域への住宅誘導をし、国として強靱なまちづくりを目指している。移転促進、住居の建築の禁止、もしくは居住室を2階以上にする等の制限も検討事項になっているか。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
<p>通告第16号 6番 遠藤 義法</p>	<p>1. 関公園は親しみのある公園に改修されたか</p>	<p>1. 公園再生プロジェクトの最初の取組みとして関公園が整備されました。「桜の公園」として住民説明会の意見も取り入れながら進めてきましたが、当初の計画・目的が達成されたのか具体的に伺います。</p> <p>(1) 計画当初予算(年度合計)と決算額はいくらで、不用額は。</p> <p>(2) 住民説明会で出された意見などを含め、ランドデザインが示されました。そのなかで①老朽化したトイレをユニバーサルデザインの使いやすいトイレに改修。②ログハウスに代わり、周囲を見通せる四阿の設置。③小さな子どもも遊べる砂場の設置。④健康遊具の設置。これらは実施されていません。設置・改修しなかった理由と今後の計画は。</p> <p>(3) 公園内を回遊できる園路は整備されましたが、園路は波を打ち、雨の後何カ所も水たまりができています。排水溝、緑地に流すなど傾斜をつけるのが当然だと考えます。設計図通り工事は実施されたのか、検査結果等伺います。</p> <p>(4) A S E遊具が構想の途中から追加、設置されました。コロナ禍の中で活用できないこ</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	<p>(続)</p> <p>1. 関公園は親しみのある公園に改修されたか</p>	<p>とは理解できますが、利用目的、利用内容、指導員の確保、費用など利用規定をお聞きします。</p> <p>(5) 公園を改修して親しみのある公園をめざすとしていましたが、当初の目的は達成されたのか。住民の意見や利用状況を伺います。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>(続)</p> <p>通告第16号 6番 遠藤 義法</p>	<p>2. 市が率先して温暖化対策を</p>	<p>地球温暖化対策として政府は、温室効果ガスの排出を2050年までに実質ゼロの目標を掲げました。吉川市含め5市1町で「ゼロカーボンシティ共同宣言」を行い、今後再生可能エネルギーの利用推進、廃棄物の削減、普及啓発などを共同で取り組んでいくとしています。吉川市として「吉川市環境保全指針」の改定、「吉川市エネルギービジョン」の策定で環境施策の推進に当たる計画が示されました。具体的な今後の推進項目、独自計画をまず伺います。</p> <p>具体的項目として</p> <p>(1) 市民1人当たりの「家庭排出ゴミ」の推移、事業系ごみの排出量の推移、他自治体との比較はいかがですか。</p> <p>(2) 全国的にごみ問題への住民意識の低下が環境省の統計で示されています。吉川市ではどうでしょうか、市の認識は。資源循環に対する認識を広める活動などを積極的に位置づけ・促進する具体策が必要と言われていますが、市の取り組みと考え方は。</p> <p>(3) プラスチックごみの焼却とリサイクルの取り組みについての考え方と推進策、環境に与える影響はどう変わりますか。</p> <p>(4) 東埼玉資源環境組合における分担金・平等割の見直しをすることで、より搬入量の減量を各市町が位置付けることになると考えます。また、各市町の1人当たりの分担金の平等性も確保されます。組合議会や理事会の動向、市の取り組みについて伺います。</p>	<p>市長 担当部長</p>
	<p>3. 住民サービス向上のためのデジタル化を</p>	<p>デジタル関連法案が5月国会で可決されました。デジタル化により、便利になる部分もあると考えますが、考慮すべき点もあります。市の対応では、デジタル社会形成基本法で国が「情報システムの共同化・集約の推進」が掲げられ、自治体情報システム標準化法では、国が決めた基準に適合したシステムの利用が義務付けられています。法案が可決されたばかりですが、国会論戦など把握していると思います。基本的な点について伺います。</p> <p>(1) 国会では、「自治体の政策判断を制約するものではない」と大臣が答弁しています。市は、国の基準に合わせたシステムの利用義務のなかで、市独自の施策が実施できると認識していますか。できる場合、できない場合の法的根拠を示してください。</p> <p>(2) 行政サービスにおいて、デジタル技術を使える人と、使えない人の間でサービスに格</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第16号 6番 遠藤 義法</p>	<p>(続) 3. 住民サービス向上のためのデジタル化を</p>	<p>差が生じてはいけないことは当然です。窓口での相談などサービスが選択できる対応が求められています。今後の考え、対応を伺います。</p> <p>(3) 新システムへ移行する費用はすべて国庫補助対象になると考えてよいか。セキュリティ対策や技術対応なども、デジタル庁が示したガバメントクラウドを利用することになるのか。</p> <p>(4) 市が独自に制定する個人情報保護条例は「いったんリセット」(大臣答弁)し、共通のルールを設定したうえで、法の範囲内で独自の保護措置を最小限で認めるとしています。最小限の許容範囲とは何か。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>